

沼津駅の鉄道高架を推進する有志の会との車座談議

- 1 日 時 平成 25 年 2 月 20 日 (水) 10:00 ~ 12:20
- 2 場 所 東部総合庁舎別棟 1 階会議室
- 3 出席者 沼津駅の鉄道高架を推進する有志の会 (11 名)
静岡県街路整備課、沼津土木事務所都市計画課

4 いただいた主な意見

- ・ 沼津貨物駅は、これまで県東部や沼津市の発展を支えてきた要因の一つでもあり、沼津に必要な施設である。物流の拠点である貨物駅を他地区へ移転させてはならない。
- ・ 原地区は、既に国道 1 号や東海道本線が通過しているし、港湾も近い。また、今後スマートインターや東駿河湾環状線西工区の整備がされれば、物流の連結点機能が更に増してくる。加えて放水路等が整備されれば、原地区は沼津の副都心となり得るし、県東部にとっても有益な地区となる。
- ・ 貨物駅の現計画は最良の計画であるが、有識者会議の報告書にあるように規模の縮小について積極的に検討すべきある。
- ・ 有識者会議の報告書では、「沼津貨物駅の移転先は、周辺地域を含め地域の発展に資するものとならなければならない。配置計画の見直しを含め、関係者間の徹底した合意形成を図ることが望まれる。」とある。このとおりに、地域の発展に資する配置計画を検討し、合意形成を目指せばよい。
- ・ 原地区の人が求める健康文化機能を加えるなど、配置計画を見直すことで地域の発展に資する計画を検討し、地権者に示すことで、理解を求めることが必要。
- ・ 貨物駅の規模の縮小や配置計画の見直しについて、積極的に早急に県が鉄道事業者を交えて検討すべきである。

